

《Q》老朽化した市道全てを再舗装する費用はどのくらいか

《A》約87億円と試算される



公共施設等の管理について

質問 建築から60年を迎える市内の小・中学校は、建替えなども検討しなければならぬと考えますが。

市長 施設を適切に維持・保全していくため、耐用年数の60年を迎えるタイミングで耐力度及び劣化度調査を実施した上で長寿命化改修に着手していく計画である。現時点では、建替えについて具体的な検討は行っていない。



舗装状況が劣化している市道

質問 市道が老朽化しているが、全てを再舗装するためには、どのくらいの費用が必要か。

市長 一概に算出することは難しいが、市道の舗装面積は、102万4104平方メートルあり、約87億円と試算される。

質問 公共施設等の管理にかかる費用と、羽村駅西口土地区画整理事業費用について優先度はどのように捉えているか。

市長 どちらも市民生活やまちの発展にとって大切な事業であり、一概に優先順位をお答えすることはできない。

職場体験について

質問 コロナ禍で職場体験の実施について、各校で対応が分かれたが、市として対応を統一することはできなかつたか。

教育長 職場体験をはじめ、学校行事は法令上、実施の可否を校長が判断している。今回の場合、各学校などの感染状況が異なっていたこともあり、市として対応を統一するには至っていない。



《Q》本のコンシェルジュの今後は

《A》日数の拡大や内容を充実させていく



令和版進取の気性によるまちづくり

公共施設の取組みのさらなる充実

質問 プリモライブラリーはむらで始まった本のコンシェルジュの今後は。

教育長 本のコンシェルジュサービスは、図書館司書が推薦図書を選んで手渡しするサービスであり、主に子どもの読書活動を後押しする取組みである。小・中学校の午後の授業が比較的小ない水曜日に行っている。三つの図書館分室が終了となる来年1月以降は、日数を拡大し、内容を充実させ、市民の読書活動を一層支援していく。



読書活動を支援する取組みのひとつ(おはなし会)

質問 「SDGsアワード西多摩2022」で、スポーツ施設の広域利用の話題があったが羽村市の考えは。

教育長 令和3年3月に改訂された「西多摩地域広域行政圏協議会計画」に、公共施設の広域利用に向けた検討が盛り込まれたことから、今後、スポーツ施設の広域利用の検討がなされるものと考えている。市としても協議会の一員として、他市町村と共に検討していく。公共交通のさらなる充実

質問 あきる野市のように、青梅線以西地区にデマンド型交通の実証運行をできないか。

市長 現段階ではコミュニケーションバスによる運航が適しているかと捉えている。利用者数の推移や、あきる野市の実証運行の結果などを参考に利点や実証実験の必要性等について調査・研究を進めていく。



《Q》献血事業のさらなる啓発計画は？

《A》若い世代向けに、市公式Twitter等を活用する



濱中 俊男 議員（新緑会）

献血の促進に関して

質問 過去10年間の献血実績の推移は。

市長 10年前と比較し年間70人ほど減少しており、少子高齢化が原因と捉えている。

質問 市内の献血協力団体をどう把握しているか。

市長 2つの企業が協力している。「献血キャンペーン」では、東京羽村ライオンズクラブと町内会連合会にも協力いただいている。

質問 今後の啓発計画は。

市長 若い世代に協力いただけるよう、市公式Twitterなどを活用していく。**消防署通り・**

問坂街道について
質問 交通量をどう捉えているか。



献血キャンペーン(五ノ神会館)

市長 朝夕の時間帯は、通過する車両などにより交通量が多くなっている。

質問 福生警察署とどのような協議を行っているか。

市長 連携協力し、標示の設置や現地確認などを行っている。意見交換する中で、交通安全の強化・充実に取り組んでいく。

奥多摩街道の

大型車規制について

質問 大型車の時間帯別などの通行規制はできないか。

市長 交通規制は、警視庁や東京都公安委員会が定めている。羽村市は、引き続き福生警察署と意見交換していく。

プリモホールゆとろぎ

地下駐車場について

質問 障がい者用スペースにカラーコーンが置いてあるのはなぜか。

市長 障害のある方以外の駐車があるとの苦情があったため設置した。指摘を受け、すでに撤去した。



《Q》裁判の原告約100人が移転拒否ならどうなるか

《A》移転協議が難航すると事業継続は困難である



山崎 陽一 議員（世論）

区画整理撤回要求第62弾

質問 50ヘクタール未満の区画整理の在り方の決定権は自治体か。

市長 決定権は、市町村である。

質問 事業計画変更のプロセスは市長発議、権利者の意向、見直し検討、住民説明、都認可、議決と思うが。

市長 庁内の検討体制を整え、提言を参考に、最適な進め方を導き出していく。**質問** 住民の声を聴くのは、不可欠ではないか。

市長 国や都との協議を含め、その時期や具体的な手法等について検討していく。

質問 裁判の原告約100人が移転を拒否したらどうなるか。

なるか。

市長 移転協議が難航すると事業継続は困難である。

質問 羽村大橋拡幅完了時期、3・4・12号線の掘削部、J R踏切アンダーパスの着工と完了はいつか。

市長 大橋拡幅は搬入路の確保に向けた協議中と聞いている。3・4・12号線は警視庁や都と協議中。J R踏切との立体交差は本事業とは別事業で答えられない。

質問 検証会議の論点は「狭い道路が多い」だが、この道路は法令違反か。市内の4メートル未満道路も区画整理で拡幅するのか。

市長 道路法や建築基準法に抵触しない。本事業地区以外の区画整理の計画はない。

質問 都の「地震に関する地域危険度測定調査」では、市内は安全地域だがどうか。

市長 調査結果では、建物倒壊・火災・総合危険度などで市全域が危険度の低い水準である。



羽村大橋から都道3・4・12号線J R踏切までの完了時期は未定

《Q》これまでの英語教育の評価は

《A》英語教育に対する肯定的な態度が養われている



水野 義裕 議員（令和かがやき）



ALT（英語指導助手）との交流会の様子

英語（外国語）教育の今後
と言語化能力について

質問 これまでの英語教育の評価は。

教育長 A・L・Tを活用した授業の工夫により、小学校の低学年から中学年にかけて英語の音声に慣れ親しませ、楽しく学びながらコミュニケーション能力の素地を養ってきた。高学年では、身近なことについて基本的な表現によって「聞く」と、「話す」ことに加え、積極的に「読む」こと、「書く」ことを含めたコミュニケーション能力の基礎を養ってきた。中学校では、身近な話題について理解したり表現したりするコミュニケーション

シヨンを図ることができるよう、指導してきた。成果は、東京都教育委員会の令和4年度の調査で現れている。「英語の授業の内容はどのくらい分かりますか」という問いに対して、中学3年生の肯定的な回答は、都の平均値と比べてプラス5.2ポイント、「英語の学習はどのくらい得意ですか」ではプラス6.8ポイントであった。

質問 今後の英語教育をどう進めていくか。

教育長 9年間の英語教育が目指すのは、英語によるコミュニケーション能力の育成である。これまでの取り組みを生かしつつ、「英語を用いて何ができるようにするか」という観点を重視しながら、互いの考えや気持ちを伝え合う学習活動を一層推進していく。

■その他の質問
内部統制をどう進めるか／災害に備えて



《Q》都の害獣防除実施計画に参加し対策を進めるべき

《A》参加し、害獣被害予防の普及啓発と捕獲に取り組む



富永 訓正 議員（公明党）



アライグマとハクビシン
(東京都の外来種対策マニュアルより抜粋)

害獣対策は進んでいるか

質問 「東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画」に参加し、対策をすべきでは。

市長 令和3年度は情報提供が10件、アライグマ1頭を捕獲。都の計画に参加し、害獣被害予防の普及啓発と、害獣の捕獲にも取り組んでいく。

新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行への備えは

質問 同時流行への備えは。

市長 平日夜間急患センターで有症状者に同時検査が可能なキットを活用し診断、投薬等を行っている。また、今年度、65歳以上の市民等を対象にインフルエンザ予防接種の無償化事業を実施している。

質問 かかりつけ医等でのワクチン接種の状況と、その拡充は。

市長 かかりつけ医による個別接種は羽村市医師会と調整し実施している。拡充は、状況を見極め調整する。

道路の交通安全と騒音対策について

質問 交通事故が後を絶たず、また、動物公園通りの車両の騒音・振動に悩む声もある。

質問 危険な場所での横断者、ドライバー等双方への注意喚起を警察と連携し推進しては。

市長 歩行中の交通事故は令和3年は27件。意識啓発、注意喚起の方法など協議する。

質問 車両速度を落とせば騒音・振動は軽減する。速度指定の検討を警察と協議しては。

市長 主要な道路の騒音や振動の調査では基準値内。現段階で見直しは難しい。



議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

令和4年11月1日～令和5年1月31日の主な活動

11月

- 2日 ■ 全国市議会議長会基地協議会第104回理事会
- 7日 ■ 令和4年第2回瑞穂斎場組合議会定例会
■ 全国市議会議長会基地協議会関東部会総会（総会・視察・意見交換会）
- 8日 ■ 厚生委員会調査研究活動（羽村私立保育園協議会との懇談会）
- 9日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
- 10日 ■ 令和4年第2回西多摩衛生組合議会定例会
■ 第12回議会運営委員会
- 11日 ■ 東京都市議会議長会正副会長会議
■ 令和4年第3回青梅、羽村地区工業用水道企業団議会定例会
■ 令和4年第3回羽村・瑞穂地区学校給食組合議会定例会
- 15日 ■ 厚生委員会市民インタビュー（羽村市傾聴ボランティア・糸でんわ）
- 16日 ■ 第5回羽村市議会臨時会
■ 第4回羽村市多摩都市モノレール建設促進及び公共交通対策特別委員会
■ 第8回議員全員協議会
- 21日 ■ 東京都市議会議長会理事会・定例総会
- 28日 ■ 第13回議会運営委員会
■ 令和4年第2回福生病院企業団議会定例会

12月

- 6日 ■ 第14回議会運営委員会
■ 第6回羽村市議会定例会（初日）

- 7日 ■ 第6回羽村市議会定例会（2日目）
- 8日 ■ 第6回羽村市議会定例会（3日目）
- 9日 ■ 第6回羽村市議会定例会（4日目）
- 13日 ■ 一般会計等予算審査特別委員会（補正予算）
- 14日 ■ 第5回経済委員会
■ 第4回総務委員会
- 15日 ■ 第10回厚生委員会
■ 第15回議会運営委員会
- 19日 ■ 第16回議会運営委員会
- 21日 ■ 第6回羽村市議会定例会（最終日）
■ 第9回議員全員協議会
- 22日 ■ 第8回広報委員会

1月

- 11日 ■ 令和5年第1回広報委員会
- 16日 ■ 令和4年度議員研修会（「発達支援について」）
■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
- 18日 ■ 令和4年度瑞穂斎場組合行政視察
- 19日 ■ 経済委員会市民インタビュー（羽村市商工会青年部）
- 23日 ■ 東京都三多摩地区消防運営協議会役員会・第2部会
- 24日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会正副委員長会議
- 30日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会
- 31日 ■ 東京都市議会議長会正副会長会議

市議会からのお知らせ

議場へ飲料水の持ち込みができるようになりました

令和3年12月に議長に提出した、第7次議会改革の答申を踏まえ、継続協議項目である「議場への飲料水などの持ち込みの許可」について、議会運営委員会で検討を重ねてきました。その結果、羽村市議会傍聴規則および羽村市議会委員会傍聴規則の一部を改正し、令和4年12月定例会から体調管理のため議場へ傍聴人が飲料水を持ち込むことを可能としました。※議員および市長、市職員等についても同様に可能としました。

令和4年度常任委員会視察報告

経済委員会視察報告

市議会議員は、先進的な取り組みや、特徴ある施策を行って事業効果をあげている自治体や団体に学び、羽村市が抱えるさまざまな課題などについて理解を深め、今後の行政運営に反映させるため、行政視察を行っています。コロナ禍を考慮したうえで令和4年度に実施した、経済委員会の視察の概要を報告します。

経済委員会

委員長 山崎陽一

副委員長 大塚あかね

委員 中嶋 勝、印南修太

秋山義徳、櫻沢 康

研究テーマ

都市計画及び都市基盤整備について

視察概要

実施日 10月4日

場所 昭島市土地区画整理事務所

視察事項 中神土地

区画整理事業について



▲区画整理地区内の現状の説明を受けました

羽村市は今年度、羽村駅西口土地区画整理事業に関する検証会議を設置し、今後の事業の最適な方向性を導き出すとしています。

市と同様の行政課題を抱える他市の取組みとして、「社会変化、事業長期化への懸念」から計画変更を進める中神土地区画整理事業について、その検討経過や事業区域の現状を視察しました。

大幅に見直した

中神土地区画整理事業

市長が調査会に諮問。駅前の
みを整備し、他は別の手法で

中神駅北側地域を整備するこの事業は1964年から始まり第一工区は終了。現在は羽村駅西口と同規模の第二工区45ヘクタールを3ブロックに分けて進めている。見直しの始まりは2020年。50年以上経過した事業について、権利者への意向調査を実施。事業の見直しを求める意見が7割近くを占めた。市長は権利者等で構成される調査



▲集合住宅や店舗、駐車場が並ぶ整備済の中神駅北口

会に事業のあり方を諮問し、その答申に基づく見直し案により、東京都と調整を行った。

中神土地区画整理事業の経過



▲中神土地区画整理事業工区図(一部拡大)

- 1960年 都市計画決定
- 1976年 区域を3つに工区分割
- 1988年 第二工区を駅前、北、西に分割
- 1995～1999年 駅前ブロック仮換地指定
- 2003年 第18回事業計画変更。
2023年度までの計画となる
- 2020年 長期化が避けられないために、地権者意向調査実施。
7割近くが「事業見直し、別の手法」を求める
- 2020年 権利者(公募)14人、専門家2人の調査会へ「事業のあり方」を諮問。事業の見直しを答申
- 2022年 中神駅北側地域整備計画を住民説明のうえ、策定
- 2023年 事業計画変更(第二工区事業区域縮小・第三工区事業区域除外)認可(予定)、都市計画変更決定(予定)

第二工区のうち、駅前ブロックは整備を進め、未着手の北・西ブロック及び第三工区は道路や公園のみ整備する見直し内容とした。移転家屋は80%減少、事業費は40%減少するという。

住民の意向が、都との度重なる調整の支え
「長期化する事業を早く終わらせてほしい」との権利者の意向を支えに、認可権者である東京都と度重なる調整を行い、事業の見直しを進めることができた。

た。今後は、代替計画の「中神駅北側地域整備計画」に沿ってまちづくりを進めるといふ。区画整理事業で整備済の北口駅前には、すでに集合住宅や店舗、駐車場が並ぶ。視察を通し、「約1000棟が



▲昭島市の担当の方から説明を受けました



▲交通量抑制のため、車止めで道路を狭める第三工区

移転」という羽村市の事業においても、見直し等を行う際には、住民意向を反映することが解決の糸口のひとつであることを実感した。

しぎかいカレンダー

●3月定例会の予定●

日	月	火	水	木	金	土
				2/16	17	18
				陳情メ		
19	20	21	22	23	24	25
	議運					
26	27	28	3/1	2	3	4
		本会議	本会議	本会議		
5	6	7	8	9	10	11
	予特 (補正)	本会議		常任委	常任委	
12	13	14	15	16	17	18
		予特	予特	予特		
19	20	21	22	23	24	25
			議運		本会議	

- 陳情メ…請願・陳情の3月定例会審議予定分の締切
 - 議 運…議会運営委員会
 - 常任委…常任委員会（総務、経済、厚生）
 - 予特（補正）
…一般会計等予算審査特別委員会（令和4年度補正予算）
 - 予特…一般会計等予算審査特別委員会（令和5年度予算）
- ※会議の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問合せください。

議会を見よう！知ろう！

～次の定例会は3月～

以下の方法で議会をご覧いただけます。

- 1 議場で傍聴 ライブで！**
新型コロナウイルス感染防止対策により、傍聴者の健康を守る観点から、議場にお越しになる際は、マスクの着用や手指消毒などのご協力をお願いしています。咳や発熱などの症状がある場合は、傍聴を控えてください。傍聴の受付は、4階議会事務局で行っています。
- 2 ケーブルテレビで生中継**
多摩ケーブルネットワーク(TCN)で、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください。
- 3 インターネットで録画中継**
開催日の3日後(土・日曜日、祝日を除く)から、インターネットで録画中継を見ることができます。
- 4 会議録で読む**
会議終了後2か月程度で会議録ができていきます。冊子または、羽村市公式サイトから見るることができます。

羽村市公式サイト

<https://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会



編集後記

新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えない中、12月定例会でも、感染症対策を中心とした補正予算案を審議しました。

また、市内の公園の指定管理者を指定する議案の審議では、市民ボランティア活動との関わりをはじめ、多くの質疑が行われました。

令和5年4月からは、市民の皆さんが身近に利用している公園を指定管理者が効果的・効率的に管理運営していくこととなります。皆さんにとって、これまで以上に利用しやすく、快適な公園になる新たな取組みですので、お気づきの点について、ぜひ、お近くの議員に声を届けてください。

今後、議会だよりを通して、議会での審議の過程や様子をわかりやすくお伝えしていきます。

(浜中)

【広報委員会委員】

富松 崇(委員長)
山崎 陽一(副委員長)
櫻沢 康 浜中 順
大塚 あかね 西川 美佐保
石居 尚郎 濱中 俊男

発行/羽村市議会 編集/広報委員会

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042 (555) 0889
Tel 042 (555) 1111 (内線412~414)



「ぎかいのトビラ」は、再生紙を使用しています。